

西小コミュニティ通信

幌別西小学校が展開している「コミュニティ・スクール事業」をご紹介します

5年生が、福祉の体験授業で学んだことを 「障害者週間記念事業」で発表しました

幌別西小学校の5年生は、毎年登別市社会福祉協議会や障がい者団体の協力を得て福祉の体験学習を行っています。10月から11月にかけて、車いす体験、視覚障害の方のサポートや点字体験、聴覚障害の方のための手話体験と、それにかかわるお話を、それぞれの団体の方から聞いて、いろいろ考えることができました。

そして、12月8日（日）は、その学習で学んだことを「障害者週間記念事業」の集まりに参加している方々に発表しました。

幌別西小学校の福祉の学習に、毎年多くの地域の方々関わっていただいています。これも、幌別西小学校の良い伝統であり、恵まれたところ、ありがたいところだと思います。



車椅子は、傾斜のある所では一人で登れないことがわかりました。



目が見えないことの不安は、手助けができることで少しでも軽くすることがわかりました。



学習のまとめと、手話を交えた合唱「未来へ」を発表しました。



いろいろな方に協力いただいでできる授業

学校は、教師と児童生徒で勉強するだけではありません。福祉の授業のように、学校外の方からの協力を得て学ぶ機会がたくさんあります。学校と地域が協力し合って子供の学びを作っていくのがコミュニティ・スクールの考え方です。地域に住む子供が、地域から多くの学びを得るといえるのは大切なことであり、それができる幌別地区もまた、恵まれた地区と言えると思います。



いじめや仲間外れなど、人権にかかわる学びをするのが人権教室。本校では、2年生と4年生で行っています。登別市人権擁護委員の高橋さん（登別中央福音教会）や三澤さん（2年生にとってはキウシト湿原でお世話になりました）が講師でした。

3年生の社会科でお世話になったホームストア幌別店。天候の関係で2回に分けて訪問する形になりご迷惑をおかけしましたが、店長さんを始め、お店の方々に大変お世話になりました。



10月には2年生が登別郵便局を訪問して、局内を見学しました。歩いていける距離にあるのが、素晴らしいところです。



まだ雪が降っていなかった10月。3年生が校区のフォレスト鉱山に行って、いろいろな自然を見たり、体験したりしてきました。今ではフォレストにも雪が積もっていることでしょう。



発行：令和元年12月18日 第7号 登別市立幌別西小学校（学校運営協議会事務局）
TEL：0143-85-2364 FAX：0143-85-2025

◇この「西小コミュニティ通信」は、本校が推進するコミュニティ・スクール事業の活動を保護者、地域の皆様にご紹介する広報紙です。